

むなさわぎ

理由もなく胸^{むね}がドキドキする、なんだか落ち着かない。

そんな状態^{じょうたい}を「むなさわぎ」と言います。

これから起こる良くない出来事を予感^{さわ}して、心が騒ぐのです。



朝、目が覚めたときから気分がよくない。

何だか胸がざわざわする。

どうしてだろう・・・昨夜見た夢のせいかな？

学校には行きなくなかったけど「悪夢のせい」なんて理由じゃ休

めないよね。

仕方なくいつもと同じように学校へ行く支度をする。

でもどんな夢だったっけ？

学校へ向かう途中に大きな通りがある。

信号手前で激しいめまいに襲われて我慢できずにしゃがみ込んでし

まった。

「あなた、大丈夫？」

「ここは危ないから、もう少し先の公園で休んだほうがいいわよ」
通りかかった女性が心配そうに声をかけてくれた。

言われた通り公園まで向かうとベンチに腰を下ろして大きく息をついた。

不思議に気分が落ち着いてくる。

もう大丈夫かな。

立ち上がったとき、けたたましいクラクションと大きな衝撃音が聞こえてきた。

あわてて通りに出ると、さっきまでいた場所に車が乗り上げている。その光景に記憶がよみがえった。

これだ、夢で見たのは・・・。

押し入れ

子どもの頃に押し入れにいろいろな物を持ち込んで「秘密基地」をつくった記憶があります。

誰にも邪魔されない「自分だけの空間」が欲しかったからです。あの暗くて狭い空間が子どもの好奇心を刺激するのです。



近い将来に起こる出来事を夢で知る「予知夢」。彼女が見た予知夢は「事故に巻き込まれる」というものでした。

本当だったら、彼女はここで命を落としていたのかもしれません。

しかし一人の女性の言葉によって助けられました。その女性もまた、むなさわぎがしていたとしたら・・・。